

倫理，政治・経済

(解答番号 ~)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

人間は時に、なすべきではないことをしてしまう。何をなすべきではないとするかは時代や文化ごとに異なるが、そうした行為はしばしば悪と呼ばれてきた。先哲たちは、悪を行ってしまう自己とどのように向き合ってきたのだろうか。

そもそも人間は、自分が悪を行っている姿を正しく理解できているのだろうか。ソクラテスによれば、人々は善に関する事柄を知らないにもかかわらず、それを知っていると思い込んでおり、だからこそ、善いことをしているつもりで不正を行ってしまう。そこでソクラテスは、人々にそのような①自らの無知を自覚させ、真理の探究へと向かうように勧めたのである。また②ブッダは、人々が生の一切が苦であるということを知らず、自己に執着し、煩惱に囚われるがゆえに、他人に嘘をついたりしてしまうと考えた。そのため、③世界を貫く真理を知り、自己の姿を正しく認識することが重要だと説いた。

しかし、仮に何をなすべきではないかが分かっていたとしても、時に私たちは悪の誘惑に屈してしまう。そこで、悪をなすのを抑えるため、外からの働きかけが必要だと考える立場もあった。古代中国には、④悪い行為を抑制するため、礼や法を重視する思想家もいた。人間の本性には、欲望の赴くままに行動して社会の秩序を乱す傾向があると考えられたためである。イスラーム教でも、窃盗などの悪事を禁止する様々な⑤戒律が定められた。また、そうした働きかけは悪を抑制するだけではない。イエスの教えを伝道したパウロは、善を行いたいのにな悪を行ってしまう人間のあり方を罪と呼んだが、彼は、律法が人間にその罪を自覚させるきっかけになると考え、そこから人間は福音へ導かれると説いた。このように、礼や法、戒律などは、悪を外から抑えると同時に、自分が欲望に流されて悪をなしてしまうという事実を浮き彫りにし、自分を内から見つめ直す契機にもなるのである。

私たちは、自分が悪をなしていることに気づかず、たとえ気づいても、その事実

から目を背けたくなる。しかし、先哲たちが説くように、㉔自己のあり方を真剣に見つめ、悪を引き起こす無知や欲望の存在を自覚することではじめて、自己を律することの重要性が理解されるのである。そしてそのことは、自己が社会のなかで他者とともに善く生きるための大きな一歩ともなるだろう。

問 1 下線部㉔に関して、対話相手に自らの無知を自覚させるためにソクラテスが用いた方法の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

1

- ① 相手との問答を通して、相手の考えの矛盾を明らかにするという方法
- ② 神託に謙虚に従い、魂がそなえるべき徳に関する知へ誘うという方法
- ③ 善に関する真理を教授し、知を愛することを手助けするという方法
- ④ 魂を主題とする問答を通して、互いの優れた考えを学び合うという方法

問 2 下線部㉕に関連して、インドの大乗仏教で説かれた浄土教思想は、中国を経て、日本では、平安時代後期以降、主流をなすに至った。浄土教思想で説かれる阿弥陀仏の誓願(本願)についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

2

- ① 『無量寿経』に説かれた四十八の誓願からなり、阿弥陀仏を信じてひたむきに名号を称える者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ② 『無量寿経』に説かれた四十八の誓願からなり、阿弥陀仏を信じてひたむきに唱題にはげむ者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ③ 『法華経』に説かれた四十八の誓願からなり、阿弥陀仏を信じてひたむきに真言を称える者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ④ 『法華経』に説かれた四十八の誓願からなり、阿弥陀仏を信じてひたむきに坐禅にはげむ者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。

倫理, 政治・経済

問 3 下線部㉔に関連して, 古代インドでは世界を貫く真理について様々な仕方
考えられてきたが, その説明として正しいものを, 次の①~④のうちから一つ
選べ。

3

- ① 竜樹(ナーガールジュナ)は, 存在するすべてのものには実体がないという
思想を説いた。
- ② ウパニシャッド哲学では, 人間だけでなくすべての生あるものが成仏でき
る可能性をもつと説かれた。
- ③ 世親(ヴァスバンドゥ)は, 梵我一如の体得によって輪廻の苦しみから解脱
することを説いた。
- ④ ジャイナ教では, 世界のあらゆる物事は人間の心によって生み出された表
象であると説かれた。

問 4 下線部①に関連して、次のア～エは、悪い行為の抑制方法について考えた中国の思想家たちの主張であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

ア 現実の人間は、本性としてそなわっている理が気によって妨げられているため、私欲が生じる状態にある。私欲が勝つと天理を滅ぼすことになるので、本性の涵養かんようと事物の理の探究によって本来の理を発現すべきである。

イ 特定の人間のみを愛するとその人間だけの利益をはかるようになり、その結果、争いが生じる。それゆえ、正義を望む天の意志にかなうよう、人間は国や身分の違いを超えて分け隔てなく愛し合うべきである。

ウ 私的な欲望を増大させることは人間の最大の罪悪であり、戦争もまたここから生じる。それゆえ、争いのない平和な社会のためには、人がつくった道徳を排し、あるがままの素朴な生活に満足することが大切である。

エ 人間は利己的で打算的な存在であるため、社会秩序を志向するようにはできていない。道徳によって人間を善へ教化するのは幻想にすぎず、信賞必罰を旨とする法律と刑罰によって秩序を維持すべきである。

- | | | | | |
|---|-------|------|------|-------|
| ① | ア 朱子 | イ 孟子 | ウ 孔子 | エ 荀子 |
| ② | ア 王陽明 | イ 墨子 | ウ 老子 | エ 荀子 |
| ③ | ア 朱子 | イ 墨子 | ウ 老子 | エ 韓非子 |
| ④ | ア 王陽明 | イ 孟子 | ウ 孔子 | エ 荀子 |
| ⑤ | ア 朱子 | イ 孟子 | ウ 老子 | エ 韓非子 |
| ⑥ | ア 王陽明 | イ 墨子 | ウ 孔子 | エ 韓非子 |

倫理, 政治・経済

問 5 下線部㉔に関して, クルアーン(コーラン)には, 神がモーセに下したとされる十戒同様, 十の戒律が列挙されている箇所がある。次に示す両者の要約を読み, イスラーム教とユダヤ教を比較した記述として最も適当なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。 5

【クルアーンの十の戒律】

神に並ぶものを配してはならない。
両親によくしなさい。
貧乏を恐れて子を殺してはならない。
醜悪なことに近づいてはならない。
理由なく命を奪ってはならない。
孤児の財産に近づいてはならない。
十分に計量し正しく量れ。
発言する際には, 公正であれ。
神との約束を果たせ。
神が示した正しい道に従え。

【モーセの十戒】

私以外のどんなものも神とするな。
像を造って, ひれ伏してはならない。
神の名をみだりに唱えてはならない。
安息日を心に留め, これを聖とせよ。
父母を敬え。
殺してはならない。
かんいん 姦淫してはならない。
盗んではならない。
隣人に関して偽証してはならない。
隣人の家をむさぼってはならない。

- ① 両宗教ともに神を唯一なるものと考え, 唯一神以外の神を崇拝することを禁止しているが, ユダヤ教では偶像崇拝を許容している。
- ② イスラーム教の神は超越者ではないので, 超越神を信奉するユダヤ教のように, 神の名をむやみに唱えることを禁止する戒律はない。
- ③ 人間の健康と福祉は両宗教において何よりも重視されているので, ともに過労を防ぐために一切の労働を停止し休息をとる日を定めている。
- ④ 両宗教が定める倫理規範においては, 力点の置き方が多少違うものの, ともに親孝行と並んで社会的な振舞い方が規定されている。

問 6 下線部㊦に関連して、日本の古代の人々は、八百万の神々とともにこの世を生き、隠しごとがなく純粹であることをよしとしたが、そのような心のあり方を表す言葉として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 赤心
- ② 明き心
- ③ 黒心
- ④ 清き心

問 7 本文の趣旨に合致する記述として最も**適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 人間は、無知や欲望のせいで意に反して悪を行いがちである。だが、人間は自己を正しく認識することで、生まれながらの悪なる本性から自由になることができる。それゆえ、自己を善へと矯正していくために、自己の外に目を向けずに内省に**真摯**に努めることが何よりも重要である。
- ② 人間は、無知や欲望のせいで意に反して悪を行いがちである。自らの悪に過度に思い煩わされると、悪が何であるかは文化ごとに異なるという事実を忘れてしまいかねない。そのため、善悪の基準がどのように形成されるのかを冷静に省察することが何よりも重要である。
- ③ 人間は、自らが悪をなす存在であることから目を背けがちである。だが、自らのあり方を直視することが、悪を自制する端緒となる。そのため、外からの働きかけも手がかりとしながら、表面的な自己理解を超えて、自らがなす悪の原因を自覚することが何よりも重要である。
- ④ 人間は、自らが悪をなす存在であることから目を背けがちである。このように悪をなす自らのあり方を知ろうとしないのは、善悪の判断を社会的な規律へと無批判に委ねているからである。それゆえ、そうした規律に従うことの是非を批判的に検討することが何よりも重要である。

倫理, 政治・経済

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

人間の身体が、自動機械をモデルとする物体として自然科学の研究対象となったことは、近代以降の①医療技術の発展に結び付いたと言われる。だが、そうした身体観に対しては、様々なかたちで異論も提起されてきた。ここでは、近現代の西洋思想において身体がどのように捉えられてきたのかを振り返ってみよう。

身体を心から明確に区別したのは17世紀の哲学者②デカルトである。彼によれば、人間の身体は精神(心)とは異なり、物質から構成された機械にすぎない。この区別によって、精神は③認識する主観として、身体は認識される客観として、二元論的に捉えられることになる。しかし、こうした物心二元論は、身体と心という全く異なるものがどのように関係するののかという問題を残した。デカルトと同時代の哲学者ホッブズは、心の働きもまた物体の運動であるとして、物心二元論を否定し、人間を機械とみなす立場を徹底することで、この問題を解決しようとした。

こうした機械論的な自然観に基づいて、生命なき物質という概念が確立されることによって、逆に生命とは何か为主题となる。19世紀半ば以降になると、進化論の影響もあり、生命や身体に対する考え方にも変化が生じた。ベルクソンは、独自の視点から心身関係を考察するとともに、生物を物質的要素の機械的結合とみなす考え方を批判し、「生命の飛躍」という概念によって生命の固有性を主張した。

20世紀になると、ハイデッガーは「世界内存在」としての人間の在り方を探求し、それに基づいて、主観と客観の対立の構図のなかで認識を捉えようとするデカルト以来の発想を批判した。また、ベルクソンや④フッサールの考え方を引き継いだメルロ＝ポンティは、知覚が生成する場としての身体に着目し、デカルト的の二元論の克服を図った。彼の考察によれば、身体を離れて、私が存在することも私にとっての世界が存在することもなく、身体は主体であるとともに客体でもある。

このように考えるならば、身体から離れた主観としての私が、客観としての世界を認識することはあり得ない。⑤私が身体をもつのではなく、いわば私とは私の身体なのである。それゆえ、心と身体、主観と客観といった二元論的区別を自明の前提とせず、身体によって生きられた世界という観点から、これまでの科学の方法では見逃されてきた⑥世界や人間の有様を考え直してみることが必要であろう。

問 1 下線部④に関連して、次のア～ウの事例は日本の臓器移植法(1997年成立, 2009年改正)でどう扱われるだろうか。ア～ウの事例をA～Dに分類した場合の組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 8

ア Eさんは、脳死状態になった場合には心臓を提供したいという意思表示を口頭でしていた。Eさんが14歳で脳死状態になったとき、両親はEさんの心臓の提供を病院に申し出た。

イ Fさんは、脳死状態になった場合には肝臓を提供することをドナーカード(臓器提供意思表示カード)に記していた。Fさんが15歳で脳死状態になったとき、両親はFさんの肝臓の提供を病院に申し出た。

ウ Gさんは、脳死状態になった場合には心臓と肝臓の提供を拒否することをドナーカードに記していた。Gさんが16歳で脳死状態になったとき、両親はGさんの心臓と肝臓の提供を病院に申し出た。

- A 改正前の臓器移植法でも改正後の臓器移植法でも提供が認められる。
 B 改正前の臓器移植法でも改正後の臓器移植法でも提供が認められない。
 C 改正前の臓器移植法では提供が認められないが、改正後は認められる。
 D 改正前の臓器移植法では提供が認められるが、改正後は認められない。

- ① アーA イーB ウーC
 ② アーA イーC ウーB
 ③ アーA イーC ウーD
 ④ アーB イーA ウーC
 ⑤ アーB イーA ウーD
 ⑥ アーB イーC ウーA
 ⑦ アーC イーA ウーB
 ⑧ アーC イーA ウーD
 ⑨ アーC イーB ウーA

倫理, 政治・経済

問 2 下線部⑥に関して、デカルトの言葉として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 人間の知識と力は合一する。
- ② 事物を永遠の相のもとに観想する。
- ③ この宇宙の沈黙は私を震撼させる。
- ④ 良識はこの世で最も平等に分配されている。

問 3 下線部③に関連して、科学的な認識に関するカントの主張として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 認識はすべて経験に由来するものであり、人間の心はもともと何も書かれていない白紙のようなものである。
- ② 確実な認識は、経験に依存せず、人間に生まれつきそなわっている観念を基礎とした理性的思考によって得られる。
- ③ 認識とは、主観にそなわる認識能力によって対象を構成することであり、認識が対象に従うのではなく、対象が認識に従う。
- ④ 確実な認識は、精神が弁証法的運動を通じて段階的に発展していく過程において得られるものである。

問 4 下線部①に関して、フッサールの思想の記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 人間は自己の在り方を自由に選択するため、実存が本質に先立つ。
- ② 事物は知覚と独立には存在せず、存在するとは知覚されることである。
- ③ 言語の限界を超える語り得ぬものについては、沈黙せねばならない。
- ④ 自然的態度を変更し、判断中止を行うことが必要である。

問 5 下線部㉔に関連して、身体と所有に関する次の文章を読み、そこから読み取れる内容として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

たとえ、大地と、すべての下級の被造物とが万人の共有物であるとしても、すべての人は、自分自身の身体については**所有権**をもっている。……彼の身体**の労働とその手の働きとは**、まさしく彼の**ものである**と言ってよい。したがって、自然が準備し、そのまま残しておいたものから、彼が取り出すものは何であれ、彼はこれに自分の労働を混合し、何か自分自身のものをつけ加えたのであって、このようにしてそれを自分の所有物とするのである。……この労働は労働した人の疑いもない**所有物**なのであるから、少なくともほかに共有物として他人にも十分に、そして同じようによいものが残されている場合には、ひとたび労働がつけ加えられたものに対しては、彼以外の**誰も**権利をもつことができないのである。

(ロック『統治二論』)

- ① 自分の労働による所有は認められるが、それによって他の人が所有することを大きく妨げるようなことがあってはならない。
- ② 自分の労働による所有は認められるが、生産手段を所有して他の人を支配するといった権利をもつことはできない。
- ③ 自然は人々の共有物であるが、身体を用いて自然に対して労働を付加することによって、所有物への権利が発生する。
- ④ 自然は人々の共有物であるが、自然に対する労働を生み出す身体そのものは共有物ではない。

倫理, 政治・経済

問 6 下線部①に関連して, 環境問題に取り組むうえで重要な考え方として「循環型社会」がある。この社会の説明として最も適当なものを, 次の①~④のうちから一つ選べ。 13

- ① 環境に大きな影響を及ぼす事業について, 事前に調査し評価することを積極的に推し進めていく社会
- ② 資源の有効利用を目指し, 資源の消費を抑制し, 環境への負荷をできる限り低減しようとする社会
- ③ 将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく, 今日の世代のニーズを満たすような開発を進めていく社会
- ④ 地球規模の視野をもつだけでなく, 自分にできる身近な活動から環境保護を始めていこうとする社会

問 7 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを, 次の①~④のうちから一つ選べ。

14

- ① 身体性をその本質とする人間は, 身体的知覚の根源性に支えられて世界内に生きる存在である。それゆえ, 生命なき身体が知覚の働きによって生きた身体へと変化していくプロセスを科学的に解明する必要がある。
- ② 身体は, 純粋な主観でも単なる客観でもない両義的存在である。身体を自然科学的に捉えることも重要であるが, 心と身体を分離して考えるのではなく, 身体を介して世界に生きる人間の在り方にも目を向ける必要がある。
- ③ 身体性をその本質とする人間は, 身体の有機的メカニズムに支えられた高度な精神能力をそなえる存在である。それゆえ, 物質的身体において非物質的な心の機能が構築されていくプロセスを科学的に解明する必要がある。
- ④ 身体は, 生命現象の根源性を基盤として, 世界と相互作用する主観的存在である。身体を自然科学的に捉えることも重要であるが, 生きた身体としての人間存在の主観的根源性にも目を向ける必要がある。

倫理, 政治・経済

第3問 以下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

問1 青年期は、多様な自己像が現れる時期であり、しばしば内面の混乱を伴う。こうした自我同一性の拡散を表す語句として**適当でないもの**を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 15

- ① 通過儀礼(イニシエーション)
- ② 自意識の過剰
- ③ 否定的アイデンティティ
- ④ モラトリアム人間
- ⑤ ピーターパン・シンドローム

問2 様々な研究者がこれまで唱えてきた人の性格の分類や特徴についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① リースマンは、他人の行動に照準を合わせて自己の行動を決定する性格を他人指向(志向)型と呼んだが、現代の大衆社会では、こうしたタイプはほとんど見られなくなると主張した。
- ② クレッチマーは、性格と体型の関連を指摘し、リビドーが自己の内側に向きやすい分裂気質は肥満型に多く、リビドーが外界に向きやすい循環気質は細長型に多いと主張した。
- ③ シュブランガーは、人々の生活を方向づける様々な価値観を整理して、理論型、経済型、審美型、社会型、権力(政治)型、宗教型という六つの性格類型を主張した。
- ④ オルポートは、自己感覚の拡大、温かい人間関係の構築、情緒の安定、自己の客観視、人生哲学の獲得から構成される性格5因子(ビッグファイブ)理論を主張した。

問 3 人間の実践を、「天道」との^{かか}関わりにおいて能動的なものとして^{とら}捉えようとした思想家の一人に吉田松陰がいる。彼の思想についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 天道にかなうとは、功名や利欲を離れた純粋な心情に徹し、己の誠を尽くすことにほかならない。我が国の主君に忠を尽くす勤皇の精神は、この誠において、天道に通じている。
- ② 日常卑近な人間関係における愛こそが天道にかなうものである。人々が孔子の道に立ち返り、他者に対して忠信や恕の実践に努めるならば、互いに愛し親しむ和合が実現する。
- ③ 日々営まれる農業こそ、自然の根源的な生成活動としての天道にかなう営みである。万人が直接に農業に携わる自給自足の生活に復帰すべきであり、農民に寄生している武士や町人は無用である。
- ④ 天道は事物のおのずからなる働きであるが、そこに人道が加わることによって事物の働きは完全になる。分に応じた儉約によって得た富を社会に還元することによって、天地や他者の恩恵に報いなければならない。

倫理, 政治・経済

問 4 明治期日本の啓蒙思想家たちは、神仏など信仰の対象が実証に堪えず、それゆえ生の^よ拠り所とするには足りない^とみなす傾向があった。例えば、福沢諭吉は『学問のすゝめ』で「信の世界に^{ぎさ}偽詐多し」と述べている。次の文は、彼がそのように述べた理由についての説明である。 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

の^{かんよう}涵養と の導入による文明化こそが近代日本の歩むべき道であるとみた彼は、神仏などへの「信」によって形成される依存的な体質が、真理を見失わせ、文明の進歩を妨げると考えたから。

- ① a 独立自尊 b 民本主義
- ② a 東洋道徳 b 実学思想
- ③ a 忠孝心 b 人権論
- ④ a 独立心 b 数理学

問 5 クローンや遺伝子に関わる現代の技術についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 出生前診断によって、男女の判別や産み分けはまだできないが、胎児の障害の有無を知ることが部分的に可能になった。しかし、出生前診断が命の選別や新しい優生学につながるのではないかという批判もある。
- ② ヒトゲノムを解読しようとする試みは、1990年から進められ、2003年には解読の完了が宣言された。このことによって、どの遺伝子配列がどのような役割を果たすかについてすべて解明されたことになる。
- ③ 1990年代後半、クローン羊ドリーが誕生し、ほ乳類の体細胞クローンの作成が可能であると知られるようになった。このクローン技術を応用すれば、拒絶反応のない移植用臓器の作成が将来は可能になるという主張もある。
- ④ 遺伝子組み換え技術は、農薬や害虫に強い新しい品種の食物を作ることが可能にしている。既にいくつかの遺伝子組み換え作物が商品化され、その結果、安全性や環境への影響を疑問視する声はなくなった。

倫理, 政治・経済

第4問 次の文章を読み, 下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 14)

1980年代, 日本の政治・経済システムは, その強さの源泉が, 強力な官僚機構や①日本の経営にあるとして, 海外から「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と称賛された。しかし, バブル崩壊後の「失われた10年」を経てこの評価は一変し, 日本社会は自信を失い, 新たな政治・経済システムの模索へと向かった。

たとえば, 中央集権的な行政の非効率性が指摘され, ②地方分権に向けた取組みが行われた。また, 経済のグローバル化に即応するために規制緩和が進められた。だが, 経済成長を追求するだけでなく, セーフティ・ネットの整備を通じて, 安心して暮らせる豊かな社会を構築することもまた期待されている。その際, ③ケインズが課題とした失業の解消や, ④社会保障制度の再編という今日的問題について, 行政の役割が改めて探求されている。

また, 冷戦後, 政治・経済に圧倒的な存在感を示していた⑤アメリカが金融危機に直面するなど, 日本に限らず先進各国は新たな繁栄の構図を見いだせていない。国際社会においても, WTO(世界貿易機関)における先進国と発展途上国の利害調整も難航し, 互恵的な⑥国際協調のあり方はいまだ模索の途上といえる。豊かな社会を探求し続ける創造的な知性が, とりわけ先進各国に求められている。

「倫理」や「政治・経済」を学ぶみなさん, 活力と潤いのある成熟社会を構想する力を培うために, 人間と社会への洞察をさらに深めてください。

問 1 下線部㉔に関連して、日本の企業経営や雇用の特質とされてきた点についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 株式持合いによって資金調達が行われていたため、間接金融の利用は進まなかった。
- ② 働きたいと思う限りにおいて、労働者の年齢にかかわらず継続的に雇用する終身雇用が慣行となった。
- ③ 個人の年々の労働成果に対応する形で賃金変動する、年功序列型賃金が採用された。
- ④ 産業別や職業別の労働組合ではなく、企業別労働組合が労使交渉の中心となった。

問 2 下線部㉕について、日本で1990年代後半以降に実施された内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 地方自治体ごとに異なるサービス需要に対応するため、法律の規定に反する条例を制定することも可能とされた。
- ② 地方自治体の財政悪化を防ぐため、地方債の発行について内閣総理大臣による許可制が導入された。
- ③ 地方自治体の安定した財政運営を確立するため、三位一体の改革で相続税が地方へ移譲された。
- ④ 国と地方自治体の間に対等な関係を構築するため、機関委任事務が廃止された。

倫理, 政治・経済

問 3 下線部㉔の経済学説についての記述として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 金融政策による貨幣量の操作を重視することから, その考えはマネタリズムと呼ばれた。
- ② 労働市場では労働力の需給が円滑に調整されるので, 自然に完全雇用が達成されると考えた。
- ③ 供給されたものは必ず需要されるとする考えを否定し, 政府が有効需要を創出する必要性を指摘した。
- ④ 自生的に望ましい秩序を生み出していく市場の機能を重視し, 政府の役割を「市場の失敗」を克服することに限定すべきであると説いた。

問 4 下線部㉑について, 日本の現在の制度に関する記述として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 年金保険では国民皆年金が実現しているが, 国民年金には自営業者のみが加入する。
- ② 加齢により介護を要する状態となった者に必要なサービスを保障する介護保険では, 利用者はサービスにかかった費用の1割を自己負担する。
- ③ 医療保険では国民皆保険が実現しており, 20歳以上のすべての者が共通の国民健康保険に加入する。
- ④ 業務上負傷しまたは病気にかかった労働者に対して補償を行う労災保険(労働者災害補償保険)では, 事業主と国が保険料を負担する。

問 5 下線部㉔の第二次世界大戦以降における対外政策についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① トルーマン大統領は、「鉄のカーテン」演説を行った。
- ② アメリカは、地下以外での核実験を禁止する部分的核実験禁止(停止)条約に調印しなかった。
- ③ アメリカは、イラクのクウェート侵攻によって生じた湾岸危機に対して軍事行動をとらなかった。
- ④ オバマ大統領は、プラハで核廃絶をめざす演説を行った。

問 6 下線部㉕を促進する組織として国際連合がある。国際連合の制度についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 安全保障理事会は、表決手続として全会一致制を用いる。
- ② 経済社会理事会は、教育や文化に関する専門機関と連携関係をもつ。
- ③ 総会は、安全保障理事会の勧告に基づいて事務総長を任命する。
- ④ 総会は、安全保障理事会の非常任理事国を選出する。

倫理, 政治・経済

第5問 次の文章は、ある大学で経済学を専攻する学生2人の会話の一部である。

これを読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

学生A：次の春休みにヨーロッパ旅行を計画しているんだ。だから、最近、㉑ 為替相場の変動、とくにユーロの動きには無関心ではられないよ。

学生B：そういえば、2010年初めごろにも急速なユーロ安が進んだね。

学生A：そうだったね。当時、ギリシャが前政権の財政赤字の額を大幅に上方修正したことがきっかけとなって、ユーロの信用力が下がったようだね。

学生B：先日の講義で、ヨーロッパは戦後ほぼ50年かけて㉒ 経済統合を進めてきて、1999年ようやく単一通貨であるユーロを導入したって聞いたよ。

学生A：ただ、財政運営は各国の責任なんだけど、財政規律を保つために赤字の幅を一定の枠内に収める規定があるんだ。2008年の㉓ リーマン・ショック後の景気対策を目的とした歳出拡大で、ギリシャがこの水準を大幅に超えて、他の国々にも問題が波及しないかきく 危惧されたんだ。その後のG20で、「13年までに日本を除く先進国の財政赤字を半減させる」という健全化目標が打ち出されたのも、そういった背景があるんだ。

学生B：そうか。だけど、なぜ日本だけが例外扱いにされたんだい？

学生A：それは、㉔ バブル経済が崩壊した後、長期にわたる景気低迷と度重なる所得税減税による税収減を補うために赤字国債が増発されて、他の国々から目標の達成が事実上不可能だってみなされたからなんだよ。

学生B：それでも、依然として国債の価格や円の価値はほとんど下がらないね。

学生A：外国と違って、㉕ 日本の国債は大部分が㉖ 金融機関などの国内投資家によって保有されているんだ。それだけ資本逃避のリスクが小さいんだ。

学生B：だからって、このまま借金にばかり頼っていると、将来金利が上昇したときに、利払い費の負担だけでも相当なものになるよね。借金をこれ以上増やさないためには、消費税率の引上げが必要になるのかなあ。

学生A：たしかに消費税の議論もあるけど、もっと㉗ 税体系全体のあり方にも目を向けるべきじゃないのかな。税に対する国民の信頼が高まるように、公正な税制をしっかりと構築していくことが大事だと思うよ。

問 1 下線部②によって、輸出企業の売上げが影響を受けることがある。1ユーロ=131円であるとき、日本のある電気機械の企業が自社製品をユーロ圏で販売し、2億ユーロの売上げがあった。その半年後に1ユーロ=111円になったとき、この企業が同じ数量の同じ製品をユーロ圏で販売し、相変わらず2億ユーロの売上げがあったとすれば、円に換算した売上げはどのくらい増加または減少するか。正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 20億円増加する。
- ② 40億円増加する。
- ③ 20億円減少する。
- ④ 40億円減少する。

問 2 下線部⑤についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① FTA(自由貿易協定)は、二国間や地域で自由貿易をめざすもので、投資や知的財産権に関する協定を含む経済統合の最高度のものである。
- ② EEC(欧州経済共同体)で導入された関税同盟は、域内関税と域内輸入制限を撤廃し、域外共通関税を設定するものである。
- ③ 単一欧州議定書による市場統合は、非関税障壁を撤廃してモノの移動を自由化し、サービス・カネの移動について加盟国の規制を残すものである。
- ④ マーストリヒト条約で計画された経済通貨同盟は、加盟国の経済政策を調整し、固定相場を維持することを目的とするものである。

倫理, 政治・経済

問 3 下線部㉔は, 各国の国際収支の構造にも影響を与えたとみられる。次の表はその前後における日本の国際収支表から主要項目を抜粋したものである。この表から読みとれる内容として正しいものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。

28

(単位：千億円)

	2007年	2008年	2009年
経常収支	248	164	133
貿易・サービス収支	98	19	21
貿易収支	123	40	41
輸出	797	773	508
輸入	674	733	468
サービス収支	- 25	- 21	- 19
所得収支	163	158	123
資本収支	- 225	- 184	- 127
直接投資	- 60	- 107	- 59
対外直接投資	- 87	- 132	- 70
対内直接投資	27	25	11
証券投資	120	- 243	- 211
対外証券投資	- 129	- 140	- 163
対内証券投資	249	- 103	- 48
外貨準備増減	- 43	- 32	- 25
誤差脱漏 ^{だつろう}	20	52	20

(注) 表中の数値は, 小数点以下を四捨五入している。

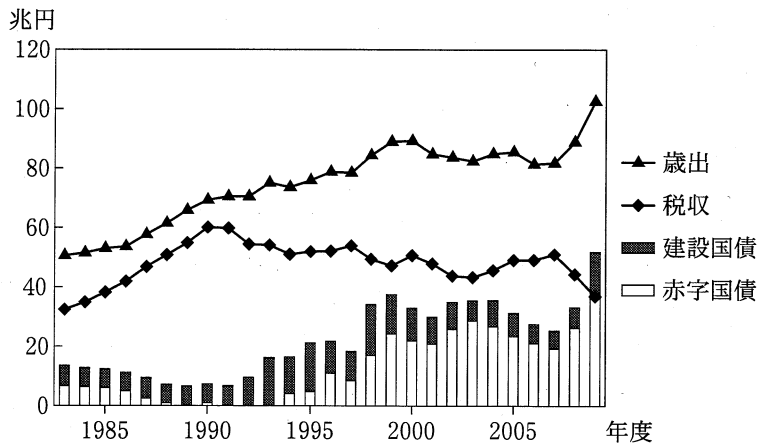
(資料) 日本銀行国際局『2008年の国際収支(速報)動向』(2009年), 同『2009年の国際収支(速報)動向』(2010年)により作成。

- ① 財の輸出・輸入による収支は赤字に転じた。
- ② 2008年に比べ09年には, 対外直接投資の規模は拡大した。
- ③ 投資収益などの所得の受払いによる資金の純流入の黒字は継続した。
- ④ 2007年に比べ08年には, 対内証券投資の規模は拡大した。

問 4 下線部㉔についての記述として誤っているものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 日本銀行による高金利政策の採用が, 景気を過熱させた。
- ② 企業や家計の余剰資金が株式や土地などへの投機に向けられた。
- ③ 資産価格が上昇しただけでなく, 消費や設備投資が拡大した。
- ④ リゾート開発への投資が増加した。

問 5 下線部㉔に関連して, 次の図は, 1983年度以降の国の一般会計における, 歳出と税収, 国債発行の状況について示したものである。この図から読みとれる内容として最も適当なものを, 下の①～④のうちから一つ選べ。 30



(注) 1990年度に発行された臨時特別国債は, 赤字国債に含まれている。

(資料) 財務省 Web ページにより作成。

- ① 1990年代末において, 国債依存度は1990年代初めより低下した。
- ② 2000年代前半において, 公共事業を目的とする国債発行が急増した。
- ③ 税収が国債発行収入を下回っている年度がある。
- ④ 国債の発行が行われなかった年度がある。

倫理, 政治・経済

問 6 下線部㉑に関連して、日本の金融機関についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 日本銀行は、市中銀行に対して貸出しを行うことができる。
- ② 市中銀行は、コール市場で相互に短期資金を融通し合うことができる。
- ③ 証券会社は、有価証券の売買ができるが、その引受けはできない。
- ④ ノンバンクは、貸出しができるが、預金の受入れはできない。

問 7 下線部㉒に関連して、次の表は、日本、アメリカ、イギリス、フランスの4か国における国と地方の税収(所得課税、消費課税、資産課税等の内訳とその合計)が国民所得に占める比率を、それぞれ1990年と2007年について示したものである。表中のA～Dのうち日本に該当するものとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

(単位：%)

	所得課税		消費課税		資産課税等		合計	
	1990年	2007年	1990年	2007年	1990年	2007年	1990年	2007年
A	9.0	14.0	15.9	14.6	6.4	8.4	31.3	37.0
B	15.4	16.9	5.8	5.7	3.8	3.8	25.1	26.4
C	19.0	18.2	15.1	13.7	6.1	5.8	40.2	37.8
D	18.9	14.1	5.2	6.9	3.6	3.6	27.7	24.6

(注) 厳密に所得課税・消費課税・資産課税に当てはまらないものは、ここでは「資産課税等」に含まれている。なお、統計処理の関係から、各項目の数値の和が合計の数値と一致しない場合がある。

(資料) 財務省 Web ページにより作成。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D

第6問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

人間は生まれながらにして①自由かつ平等である、と②近代の自然権思想は主張した。自由と平等という価値は、今日でも、公正な社会の基礎となる原理である。

私たちの間には、③意見や価値観の違いがある。そうであれば、各人がその信ずるところに従って自らの人生を生きる自由は、他者の権利や公の秩序などに反しない限り、その者の「個性」として尊重されなければならない。そして、平等は、他者と異なっていることを理由とする差別を禁止する。このように自由と平等という④基本的人権は互いに補い合う関係にある。

近年、ヨーロッパでは、イスラーム教徒の女性が教義に従い容貌を他人に見せないために着用する衣服を公の場で身に着けることを、事実上禁ずる法律を定める国がある。この法律に賛成する立場からは、たとえば、人物を識別できなくなる衣服の着用の禁止は、犯罪対策の観点からやむをえないとされる。しかし、この法律は自らの信仰や文化に従って生きる自由を侵害し、また、その背後には社会の⑤少数者に対する偏見があつて平等にも反する、という意見にも留意が必要であろう。

日本においても、⑥立法府や行政府の定める法令は、多かれ少なかれ多数者の価値観や生き方を反映している。それゆえ法令が特定の価値観への同化の強制に陥っていないか、違憲審査権を有する⑦司法府が監視することが重要である。さまざまな意見をもつ人々が、それぞれ自分らしく、共に生きることができるよう、私たちは「不断の努力」(日本国憲法第12条)を続けていかなければならないのである。

問 1 下線部②は消極的自由と積極的自由の二つの概念に区別されるという考えがある。消極的自由とは、他人や政府によって干渉されない個人的な活動領域が確保されていること(他者による干渉の不在)である。積極的自由とは、個人ないし集団が自らの活動を自己以外の人物や権力者ではなく自己自身で支配すること(自己支配, 自己実現)である。この考えに立ったとき、次の文章中の **ア** ~ **エ** には消極的自由と積極的自由のどちらが入るか。その組合せとして最も適当なものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 **33**

民主的な社会においては、人々は自分たちの社会のあり方について議論し決定する、あるいはその過程に参加することができるが、このことによって実現されるのは **ア** である。それに対して、非民主的な社会においても、権力者が人々の私生活に介入していなければ、論理的には **イ** が維持されるとみなされうる。

また、ある集団内で、人々の信じる価値は個人によって異なり、相互に対立することもあるが、その違いを尊重しあう場合には、**ウ** の方が重視されている。それに対して、人々が集団として内面の価値や目的を共有すべきであり、かつその目的が民主的に決定されるならば、集団の構成員すべてにその目的の追求を強制することも、**エ** の名の下に正当化されうる。

- | | | |
|---|-------------|-------------|
| ① | ア・ウ — 消極的自由 | イ・エ — 積極的自由 |
| ② | ア・エ — 消極的自由 | イ・ウ — 積極的自由 |
| ③ | イ・ウ — 消極的自由 | ア・エ — 積極的自由 |
| ④ | イ・エ — 消極的自由 | ア・ウ — 積極的自由 |

倫理, 政治・経済

問 2 下線部⑥に関連して、近代の社会契約説についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 政府と人民の関係は、神と人間、親と子、夫と妻の間にみられるような愛情と信頼に由来する。
- ② ホッブズによれば、各人は自らの生命と安全を確保するために、主権者に自然権を譲渡することなく国家の運営に参加する必要がある。
- ③ 国家は人為的な産物ではなく、歴史の中で長く受け継がれてきた伝統を通じて形成される。
- ④ ロックによれば、人民の信託を受けた政府が人民の生命・自由・財産の権利を侵害した場合、人民には政府に抵抗する権利がある。

問 3 下線部㉔に関連して、日本における精神的自由の保障に関する記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 最高裁判所は、三菱樹脂事件で、学生運動の経歴を隠したことを理由とする本採用拒否は違法であると判断した。
- ② 最高裁判所は、愛媛玉串料^{たまぐし}事件で、県が玉串料などの名目で靖国神社に公金を支出したことは政教分離原則に反すると判断した。
- ③ 表現の自由の保障は、国民のプライバシーを尊重するという観点から、マスメディアの報道の自由の保障を含んでいない。
- ④ 学問の自由の保障は、学問研究の自由の保障のみを意味し、大学の自治の保障を含んでいない。

問 4 下線部①は, さまざまな観点から分類することができる。いま, 基本的人権をA~Cのいずれかの基準に従って α グループと β グループとの2種類に分類したとき, ア~ウのように分類されたとする。これらの分類の基準A~Cと分類ア~ウとの組合せとして最も適当なものを, 下の①~⑥のうちから一つ選べ。

36

- A 19世紀までの権利宣言・憲法で保障されていた権利(α)と, 20世紀以後の憲法で保障されるようになった権利(β)
- B 私人の活動に干渉しないよう国家に求めることを本質的な内容とする権利(α)と, 一定の行為をするよう国家に求めることを内容とする権利(β)
- C 日本国憲法に明文で保障する規定がある権利(α)と, 明文で保障する規定がない権利(β)

- ア $\left\{ \begin{array}{l} \alpha \text{ 表現の自由, 職業選択の自由, 生存権, 選挙権} \\ \beta \text{ 名誉権, プライバシー権, 環境権} \end{array} \right.$
- イ $\left\{ \begin{array}{l} \alpha \text{ 信教の自由, 表現の自由, 財産権, 選挙権} \\ \beta \text{ 生存権, 教育を受ける権利, 団結権} \end{array} \right.$
- ウ $\left\{ \begin{array}{l} \alpha \text{ 信教の自由, 職業選択の自由, 自己決定権} \\ \beta \text{ 教育を受ける権利, 裁判を受ける権利, 国家賠償請求権} \end{array} \right.$

- ① A—ア B—イ C—ウ
- ② A—ア B—ウ C—イ
- ③ A—イ B—ア C—ウ
- ④ A—イ B—ウ C—ア
- ⑤ A—ウ B—ア C—イ
- ⑥ A—ウ B—イ C—ア

倫理, 政治・経済

問 5 下線部㉔に関連して、マイノリティの人々が受けることのある差別や不利益を解消するための法律・条約に関する記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① アイヌ民族を差別的に取り扱ってきた法律を廃止してアイヌ文化振興法が制定されたが、アイヌ民族の先住民族としての権利は明記されなかった。
- ② 障害者雇用促進法は国・地方公共団体が障害者を雇用する義務を定めているが、企業の雇用義務については明記されなかった。
- ③ 部落差別問題に関して、同和地区住民への市民的権利と自由の完全な保障を求めた審議会答申に基づき、同和対策事業特別措置法が制定された。
- ④ 人種差別問題に関して、国際的な人権保障の一環として、国際連合で人種差別撤廃条約が採択された。

問 6 下線部㉕に関連して、各国の立法府と行政府との関係についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 38

- ① アメリカでは、大統領は下院の解散権を有する。
- ② イギリスでは、原則として下院の多数党の党首が首相となる。
- ③ フランスでは、大統領制と議院内閣制とをあわせた形態を採用している。
- ④ ドイツでは、大統領には政治の実権がなく議院内閣制を採用している。

問 7 下線部㉖に関連して、公正な裁判を実現するためにとられている日本の制度についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

39

- ① えんざい 冤罪防止のため、刑事裁判は、非公開とすることができない。
- ② 司法の独立性確保のため、最高裁判所は、規則制定権を付与されている。
- ③ 最高裁判所の裁判官は、国民審査によらない限り罷免されない。
- ④ 非行のあった裁判官に対しては、内閣が懲戒処分を行う。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>